（八日夕刊）

磐城新聞

休刊　大祭第一第三日曜
定價　壹枚二錢、壹ヶ月五十錢、郵税十錢
廣告料（雜報欄行五十錢　場所指定三十錢増）
發行兼編輯印刷人　遠沼龍輔
發行所　福島縣平町田町拾六　磐城新聞社　電話五六、四四

磐新顧問
（照會を歡迎す）

（問）　双生兒が丈夫に發育し、明春は愈々小學校に入るのですが二人一緒に入學しては子供等が何となく肩身がせまくはないか、下らぬ評判などせられはしまいかと氣にかゝります、いつそ別々の學校へとも考へます、町役場の學事係へお頼みしたら、うしてくれるでせうか（その母）

（答）　お目出たき事と存じます、さし子ですと往々にして兄弟同一時期に入學しますし、それに双生兒も世間に多いことですから、[illegible]として色々噂へらるゝ[illegible]心中は御察し申しますが[illegible]そのやうな心配[illegible]ことと存じます、併し[illegible]とかした方がよいと存じますならば、[illegible]め校長か首席訓導にお話しして組を別にしておもらひなさるもよい、違つた小學校にといふことは現在の上からしても、御家庭の事情から見ても、また御子さん方の通學上から考へても、お爲めではないと思ひます。

（問）　兄が英領カナダで商賣をして居ますから其許へ行きたいと思ひますが兵役は日本へ歸らねばいけないでせうか（西村）

（答）　彼地の領事が呼び寄せることに證明してくれるならばお出でになることが出來ます、一體檢査は何時なのです、樣子に依つては外國に參つた爲に猶豫を願ひ出る方法もあります、何にしても一度町役場の兵事係に直接相談なさる方が御都合でせう

（問）　廿五歳の者ですが年妻を迎へたいが、折々夢精する缺點があります、折角結婚しても妻に戻らるゝやうなことはないでせうか（K）

（答）　身體を丈夫にするやうに日常注意し、清く正しく生活するやうになさい。但し一度醫師の診察を受けて注意すべきことをきゝなさる方が安全でせう、まだ廿五歳ですから結婚をいそぎなさるな、三十歳になつてからでも遲くはないゆゑ。

明日の吉凶
舊暦十一月十六日　新暦十二月九日

▲一白　○も破けば針となる何事も辛抱が第一たり▲二黒　平和なる割合に予外の運ばざる日焦るな▲三碧　突飛な事に手を出して大失敗し易き日注意▲四綠　午前は大丈夫なれど午後は商賣控へすべし▲五黄　[illegible]に暴りて威るに近き事を破ることあり▲六白　道は遠くも荷は重くとも努めれば必ず達す▲七赤　悦びあり氣緩せぬやう注意して働くべし▲八白　秘事外に漏れて不利を招く和合が專一の日▲九紫　初めは吉終りは凶遠くに行けば戻りに災あるべし

講談　血で血を洗ふ　(207)

高橋掬太郎創作　赤施平八郎揮畫

妙計に苦しむ

閒もなく早閒重太夫がそこに現れた

「一主君お召の趣如何なる御用に御座りまするか？」

と側近く手を支へた

「おう重太夫か其方を呼んだのは余の儀でないが怪人の詮議の件ぢや」

昌康はお照の方の顔を見乍ら云つた

「はツ！」

重太夫は怪人と聞いたゞけでも身の毛が逆立つ思ひがするのであつた、怪人が松並木に現れて往來の武士を斬つてすてる間はまださほどに怖れなかつたが次第に彼の恐怖は募つた

（此の次に怪人は誰を狙ふのであらう）

と考へると思はず寒氣を感じたしかも怪人は邸へまでも斬り込んで來るといふので夜も碌に眠れぬ程であつた。そして彼は日の暮れ方から腹心の武士を邸に集め或は落し穴なぞ設けるなどして警戒をしてゐるのであつた。

「如何に鬼神の勇ありとも僅か一名や二名の怪人に惱まされて怖れてゐるやうでは我が威勢にも關するし他への聞へも恥かしいで何とか致して怪人を討ち取りたいと思ふのぢや」

と昌康は重太夫の面をじつと見つめた

「はツ！」

と云つたが悪だくみにかけては智慧者の重太夫も武勇の點は頗る覺束ないので怪人を討つだけの妙計が急に浮はなかつた

「どうぢや其方はなか／＼の智者であるが何とかよい方法がないか」

昌康は重ねて訊いた

「はつ、怪人を討つ方法でござりまするかそれは拙者も日夜苦心致すところでございまするが何しろ怪人は神出鬼沒風の如く現れ風の如く消ゆるのでございますので何うも何共致しようもござりませぬ」

重太夫は憮然と云つた

「うむ」

と昌康はうなづいた

「お照の方にせがまれて是非なく怪人を討つてやらうと約束したが怪人を討てないことは昌康も承知であつた。

「重太夫殿」

と側で聞いてゐたお照の方が齒がゆいように口を出した

「はツ！」

重太夫はお照の方の顔を見た

「それはあんまりお意久地のないお言葉ではありませぬか………」

お照の方の聲は銳かつたそして更に聲をはげまして

「如何に神出鬼沒また魔神の勇ありとも怪人とて矢張り人間ではありませぬかしかも僅に一人か二人の者を討つて討てぬといふことはなからうと思ひまする」

と責めるやうに云つた

「はつ如何にも僅か一人や二人の怪人を討てぬといふはお恥かしく思ひまする」

と重太夫は面目なげにうなだれた

「僅か一人や二人の怪人を討てぬとあつては殿樣のお恥又お家のため恥辱ではありませぬか」

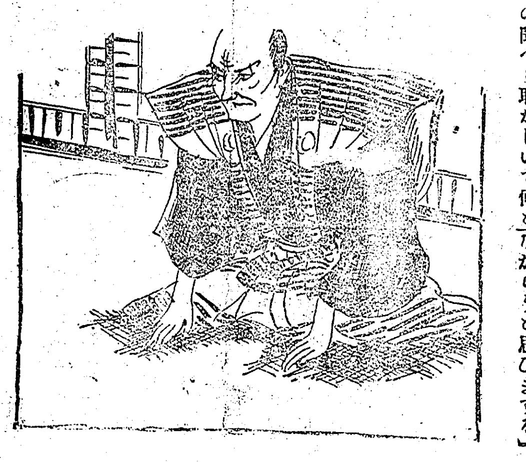
お照の方は重ねて遠慮なくきめつけた、重太夫は無言であつたお側室とは申せ自分の世話で今日の榮耀榮華が出來たのを忘れたやうなお照の方の侮辱の言葉に重太夫は思はずかつとなつたが逆らふだけ損なので默つてゐた

「まあよい」

と昌康はお照の方を制しておいて重太に向ひ

「どうぢやなんとか妙案を考へてくれぬか」

と賴むやうに云つた、重太夫も武士の意氣地お照の方に馬鹿にされて此の儘では引つ込みたくなかつた何とか善い方法を考へて怪人を打ち取りたいと思つた處が一それでなくては自分が枕を高く寢られぬのであつた



廣告

御需めの方は　平白銀町　吉田新聞店へ　電話四十八

貸地廣告

平町郡役所より稅務署附近の新開地に一千餘坪の貸地があります、然かも完全な土盛でありますから流失其の他の憂ひ絶對になく商店、諸工場並に高級の住宅地として最もの適地を極く安値にお貸しいたします

御希望の方は電話なり戴けば社員がお伺ひして親しく御相談に應じます

小名濱商事株式會社　平出張所　電話　六〇三番　五四一番

增補改訂　忠臣藏

日活超々特作時代大映畫
原作監督…池田富保努力不朽の作品
故尾上松之助遺寶秘畫

◇天地人◇　廿巻全部上映

十二月八日ヨリ　改訂せられたる名蕾の中心を增補せる、大河内傳次郎の鍔屋宗伴、河部五郎の小林平八郎、谷崎十郎、磯貝十郎左ヱ門、其の他幹部が面目一新せる大努力と名監督池田富保氏の苦心とに依り完成せる本編こそ光輝ある我日活のみが作り得る巨編名編である

秘寶大帝王篇の上映

責任解說　南桃華　林樂遊　石井孝
和洋台奏　淺田富太郎　岩村榮太郎　玉江紅洋　安部明道　杵屋迪中

料金値上せず　土曜日曜學生デー

日活松竹　平館　電四六六

宮内省御用達　ヒゲタ醬油　九升樽詰　二リツトル壜詰　銚子醬油株式會社

特約店　平田町　廣瀨支店　電話五四番

平町田町　高久病院　電話五一三番
醫學士　高久忠
新潟醫學士　赤羽清
藥劑士　佐竹菊雄
内科小兒科、外科花柳病科、耳鼻咽喉科、レントゲン科

耳鼻咽喉科專門　入院隨時（自炊の便あり）
大和田醫院　平町南町（電一七〇番）

平町紺屋町　吉田眼科醫院

齒科口腔一般　診療時間（午前七時ヨリ午後八時マデ）但シ急患ハ此限リニアラズ
平町南町成田山前　鈴木齒科醫院　齒科醫　鈴木五郎

入院隨意（自炊の便あり）
外科專門　平南町　上田外科醫院　電話一二九

夜間診療
胃腸　十二指腸虫病　内科　專門　内科部
梅毒　淋病　婦人病　皮膚病　專門　外科部
平南町　松村病院　電話一〇七

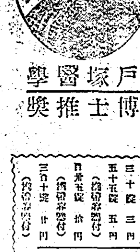
初夏の悩み　生殖機能衰弱　神經衰弱
△倦怠衰弱を覺ゆる男女は注意せよ

トツカピン

生殖器衰弱徴候
△遺精、夢精で日增しに衰弱する
△精力衰微して、根氣なくなる
△早漏、陰萎、無精となる
△視力が減退して、肩が凝る
△容色年寄臭くなり、意氣消沈
△身心倦怠、腦力減退す

神經衰弱徴候
△頭が痛いボンヤリして氣が鬱ぐ
△物忘れし易く、勘違ひする
△決斷力鈍く、グズ／＼の人間となる
△何でもないことに恐怖を感ずる
△眠い癖に夜分安眠不能
△逆上せ易く、便秘し易し
△息切、動悸がして、胸苦しい
△感情に激し易く、涙脆くなる
△婦人はヒステリーとなり、嫉妬する

變だ……と思ひ乍ら、つい多忙にまぎれて、ウカ／＼と日を送つて居る裡に、症狀は一歩一歩惡化するのです。本廣告を讀んだ瞬間、冷靜に我身に返つて、右記症狀の一つでも自覺すれば直ちにトツカピンを服用せられよ。トツカピンは生殖器、神經、精力の絶好滋養劑にして、人生幸福を多大ならしむる卓絶せる藥効は海外にまで名聲を擅にし、實驗男女は偉大なる何物かを得たるが如き心强さを感ぜしむる唯一の現代強化藥である。



戸塚醫學博士推奬

藥價　三十錠　三円　五十五錠　五円　百廿錠　拾円　三百十錠　廿円

發賣元　丁子堂藥房　東京市銀座新肴町八番地　振替口座東京七三三二一番　大阪市西區立賣堀北通二ノ九　振替口座大阪百六番

萩原氏を相手取り毆打傷害の告訴騷ぎ

草野三郎と某新聞記者を　夫れも同志の青年から

平町字新川馬場貸信(三二)は今八日午後平町々議員にして前政民政黨幹事萩原義雄、石城郡赤井村草野三郎並に福島市發行民政黨機關紙某新聞記者某を相手取り傷害の告訴を提起せんとしてゐるが事件の內容は貸信は豫ねて萩原氏に私淑し過般の縣議選擧には同氏のために

全力を擧げて民政派若松美三氏の爲め犬馬の勞に復したが昨今物質的、頗る困窮の結果去る六日夜同氏宅を訪れて物質的援助を乞はんとしたが無情にも萩原氏は返つて貸信を何んの縁故もないのに強請するは生意氣だ、居合して前記二名被告訴人と共に下駄以て貸信を毆打し顔面、口唇其の他に傷害を負せたので直ちに貸信は赤心堂病院長新妻醫師の診斷を受け遂ひに告訴せんとするまでに至つたものであると

北部青年講座　六日四倉町に

石城郡北部青年講座は六日午後一時から四倉町小學校に於て開催された四倉町外附近各村から青年團員、處女會員等約三萬餘名出席頗る盛會であつたが講師は中曾根本縣社寺主事、坂田同主事補の兩氏であつた

枝葉の論爭を避けて大局に眼を致せ

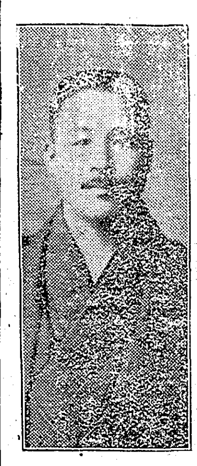
小名商港實現の急を　白井農銀頭取談

小名濱商港問題は目下開會中の縣會に於て重大な論點となつてゐるが右につき農銀頭取白井博之氏は「此問題は私が大正七年に代議士をしてゐた時代に始めて衆議院に提出したものでそれ故にこれが實現を見る日は私の衷心から熱望してやまない問題である石城郡民として、これを要望するのみではない縣の

交通上から見ても當然爲さざるべからざるものであり、沿海四十餘里一の商港も有せざりし如きは縣民の恥辱でないか磐越線の開通により日本海と大平洋とが結びつけられたのであるからこれに對應し海路にも小名濱商港の築造により海運を利用するの必要あるはいふまでもあるまい而して汽車賃と船賃とを比較すると上に於て物資の輕送上海路を利用する事が低廉にしてこれが爲に

縣民の生活にも好影響を與へ肥料といはずその他の物資が低廉に供給さるやうになるのであるから縣民の消費に影響し且縣下の生産物を市場に低廉に供給するから販路の擴張をなし進んで縣下の生産力を增大し以て本縣産業の發達に絶大なる効根あるべきを信じて疑はないのである從つて縣民は共通せる利益の問題として共にその實現を促進すべきものであるまいか私は率先してこれを議會に提唱した關係もあり、石城出身者としても特にその實現を熱望するものである縣會に於ても

多少の異論はあるやうに聞こえてゐるし淺野總一郎翁の信用程度に關しても議論は勿論あるであらうが小名濱商港の急務であり、その計畫の時代に適應した施設である事を知つたならば枝葉の論爭はこれを避けて大局から問題の可否を判斷し進んで贊成しその完成に努められん事を望み斯うした公益の問題には黨派的偏見を先り公正なる見地から眞に縣民の福利を增進するために奮闘されんことを希望するものである」云々と語つた



剩餘時間の利用

副業奬勵の實績如何　鈴木縣議の質問

福島電話

本縣通常縣會第十日目は七日午後一時五分より開會勸業費の質問に入り本郡選出政友會議員鈴木辰三郎氏は

勸業は縣民の實生活に緊すと重大問題である試驗場は數あり經費も渉くない事業其物より役員費が多い事もある各試驗場が如何なる仕事をして居るか縣民はよく知らない、即ち役人が試驗さへすれば滿足るとするならば實は民衆を離れて行く、試驗場當局は指導を先決させねばならぬ、工業試驗場が當業者に如何なる指導をしたかを聞きたい養殖試驗には約二萬の金を費してゐるが如何なる效果を齎したか、農事試驗場の石城分場を見るに相當に之の指導をしてゐる、然るに本場である郡山は成績見るべきものがないと聞くから內容を聞きたい若し成績を揚げ得ないならば石城を本場とするの意思がないかと農事試驗場本場を石城に持つて來る主張をして生産物を活き得ない町村には副業を勸めなければならぬ、縣は副業奬勵に對して如何なる成案かあるか、更に木炭業は縣として見のがせぬが、同業組合が木炭の改良を目的とする檢査をせぬ、中には檢査票を賃貸さへ行はれてゐる、更に蠶業資金貸付けは必要であるが回收を如何にするか、次には最近の農村は機械化して時間の剩餘を來してゐるが此時間を如何に利用しつゝあるか、縣は此時間を善用する爲に副業奬の奬勵をしたか餘つた時間を國政や縣政等に關する議論に使はれてゐるではないかと述べて時間利用論をなし

縣農會の役員は民選と官選より選ばれたのであるが、當日會長である知事は缺席と聞く、また農事に重大なる關係ある農事試驗場長は或る一派の退場と伍して退場し役員選擧に加はらなかつたといふ場長は時によつて知事に代る人であるのに退場したことは甚だ責任を無視したものと思ふ、斯る場長を官選議員とする事は甚だ遺憾である。

とて農事試驗場長排斥を叫び議場は異狀に緊張した、正に大きな巨彈を投じて降壇すれば半井內務部長登壇し

農事試驗場は現狀を維持する、縣農會役員選擧に關する官選者は個人として選擧に臨んだのであるから答辯を避けない、其行動に就き指圖はせぬが當時の本人の態度を聞くに役員選擧が政黨色彩を帶びたので避けたいとて退場したとの事である、私が若し其席にあらば退場の態度に出たと思ふと

部下擁護をやつて下◎

◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎

ニッポン一優良な平の訓練生

遺憾なのは出席僅少　福間查閱官語る

平町青年訓練生の查閱は既報の如く牧野福島聯隊區司令官及福島少佐により行はれたが右に關し福間查閱官は「平青年訓練所の成績が優秀であつた事は聞いてゐたが實に遺憾のない而も訓練生として少なく現役二期あたりの實際軍隊に於ける教練に比し寸毫の遜色なく他に比類なき立派な態度を以て唯威激の外言葉なく訓練生が如何に熱心に致發をうけ且指導者が如何に熱誠のこもつた

訓陶を施して來たかと云ふ點に感動せずにはゐられなかつた、尙參觀に來合せてゐた或る訓練生の保護者の話によれば其青年の入所してからの規律動作、精神等は其以前に比し嚴肅機敏善良となつた事實もあり訓練日に五六時間を家庭から離れる位の事で少しの損失もなく寧ろ夫れによつて得る收穫こそ甚大なものであると告白してゐたがあの實績に徵して斯くあるべしと自分も動かされてゐた唯二百名の訓練生を有してゐる此の町に於て當日僅二七名の出所生を見るに過ぎなかつた事は當訓練生として當局として

誠に遺憾に堪へない事であつたが之れは現在各町村訓練所に於て大同小異の事實で各保護者が訓練所をよく理解して居らぬ結果と信ずるから之れに對して將來最善の方法を採る事に改めたいと思ふ」

酌婦を騙して金指輪橫領

紋四郎取調中

平町北白銀町居住河沼柳津村字藤生れ魚行商人渡邊紋四郎[illegible]は[illegible]太田屋方で好間村[illegible]信吉外數名と共に花合賭博開帳中外の者は平署員のために取押へられたが紋四郎は逃走行方を晦まし平署で搜查中青田部長柴崎の二刑事が昨七日夜午後十一時頃自宅に歸つた處を踏込んで逮捕本署に拘致嚴重取調の結果紋四郎は去る五月中平町南町飲食店旭屋の抱酌婦春子清沼タケ(三三)を偽りて金指輪一ケ代約二十餘圓を橫領し大工町多田井質店に入質した事自白したが尙餘罪ある見込である

四倉信用組合が理事除名の總會

虛構の事實を流布し　吉田氏當り御難

石城郡四倉町有限責任四倉信用組合の總會は嶽に同町小學校に於て開催されたが總會に先立ち同組合の理事町議吉田治三郎氏が組合內に不正事件がある如く新聞に發表したので、組合員間の問題となり總會の際組合の規定に基き同人の除名問題が起き委員を擧げて調查し實證をにぎつた上處分する事に決定したが、その後調査の結果同人が通信した事判明、同町の有志は吉田氏が殊更に組合の信用を毀損する爲め虛構の事實を宣傳したものであるから、この際處分すべきであると三人の證人を擧げ組合長に臨時總會召集方を申し出た由である

箕輪組頭更迭

箕輪村消防組頭遠藤富氏は此の程組頭辭任を願出たので別宮警察部長は後任として同村吉田豐實氏に命じ六日付遠藤氏の辭職を許可した

泥醉の揚句刑事に暴言

兵吉けさ歸宅

平町立町磐炭發電所土工人夫請負業志賀兵吉(四八)は今八日午前二時半頃平町南町飲食店鹽屋本店前街路で泥醉の餘り苦太を卷いてゐたのを折柄密行中の平署刑事が歸宅を促したところ「俺れを誰れだと思ふんでい？」とばかり啖呵を切つて係官を手古摺らし果ては罵倒するので檢束され留置場に叩込れた上午前九時片寄警部補に嚴重說諭されて放還

湯本、小名、內鄕に職業紹介所設置

平紹介所の實績に見て　當局から設置勸誘

本郡は炭礦と漁場を抱擁してゐる關係から多數の勞働者が入り込み殊に近來事業界の不況から失職者續出し由々しき社會問題たらんとするのを緩和する爲め平町に町營の職業紹介所を開設し實績相當見るべきものあるに鑑み、東京地方職業紹介所では本郡湯本、小名濱、內鄕村の三ヶ所に同樣紹介所を設置せしめて欲しいと縣當局に勸誘して來たので本縣では當該町村に對し右設置の勸誘方を促すことゝなつたから遠からず實現するものと見られてゐる

長途騎乘の櫛田氏歡迎

平青年ご分會

青森、下ノ關間長途六百里の騎乘突破に成功した櫛田彥之進氏は全國的注視の裡に愈々明九日午前八時上野驛發午後一時四十八分平着列車で錦衣歸鄕する事になつたが氏の壯擧大成功を永遠に記念するため平町青年團並に在鄕軍人分會では明九日櫛田氏の着平と同時大歡迎會を催すべく櫛田氏を平驛頭に迎ふるや直ちに大工町を經て平署前までの本町通り才槌小路を經て會場たる商業學校々庭に到着歡迎會に移る筈であると

飲食店開業許可を受けず

無燈火もた灸

平警察署では歲末の特別執行中である事既報した此の警戒網に引掛り告發された者は上小川村大字上小川鈴木儀重方運轉手遠藤美彌(三二)は三日夜平町才槌小路を無燈火の自動車を運轉し好間村大字上好高鴨原治作(三二)は同夜平町田町通りを無燈火の自動車に搭乘し、平町南町木村喜八(三五)は平署の許可なく去る二日から飲食店を開業したので各れも三圓宛のお灸を据えられた

明るい春を前に餅つきの景氣

米價の安に惠まれ　平地方の傾向

昨年は諒闇とあつて正月各家庭の食膳を賑ばすべき箸の餅まで何れ控ね目に搗かれたので年の暮に於ける糯米の相場など高からうと安からうと餘り大した影響もないと言はれてゐたが愈々二旬餘にして迎ふべき正月は諒闇もあけ初めて明るみの

昭和の春を待つ樂とて平町地方でも昨年控へられた餅も本年は何處の家庭にも澤山搗かれることゝなる樣に見られてゐるが昨今糯米の相場はどうであらうかと調ると御多聞にもれず不景氣に惠まれて糯に比較して一升二錢高の三十四錢位であると言ふから安いものだ其原因は本年の糯米が一般に

豐作の處へ來て不景氣とあつて平窮の需要も減つてゐる爲め品溢れの爲であると言はれてゐるが愈暮も押し詰まつて行けば幾分高値を辿る事になるであらうと觀測する向きもあるが先づ本年は大体に於て安い餅が搗ける事であると

一分間に五百枚

自動印器を備ねて　平局の年賀準備

平郵便局にては年賀郵便の取扱準備で田村局長以下全員汗だくの活動を續けてゐるが今年は諒闇明けと來年の總選擧を控ねてゐるだけに取扱を開始する廿五日からは一日約十五萬通位いの年賀狀が舞込むものと豫想し事務員集配人共前年の約二倍位を雇入れる事となり更らに事務能率の增進を計るため今年初期から計畫中だつた自動日附印品で七日午後愈々据付たが此の自動印器は九馬力平川式で一分間五百枚を印刷し得ると

◎此頃ゾロ〳〵た役人がそろつて毎日のように花柳界を軒別にまはつては、帳面をとりあげて朝から晩までドッカと腰をたちつけて調べられるので、用向きもナニもできずにおびねてゐるそうだ◎まるで昔のお奉行さまのようだと年寄が水洟をすゝつてグチツてたがソリャ違ふよ、昔の侍は人切り庖丁を二本づゝさして、突つ袖をして威張つてたものだぜ、誰だへ、歷史はくりかへすなんて言ふのは◎或る意味で有名だつた竹の家の△△が近く平を巢立つて暖かい地方に出掛けるだらうと、渡り鳥と間違つてるのがあれば、ナアニ猫にマタヽビといふから、股で旅するのが藝者の本分だは猶更ら口が悪い。

……師走り空に雄飛する珠玉の寶物篇これぞ眞の大衆名畫!!……

[illegible]を放つて九日より金射落週間

尾上紋十郎と阪東豐昇主演
松枝鶴子、泉清子、中村獅平……助演
名も床し幡隨院 一人長兵衞 八卷
と 法華？
氣骨稜々弱者千人の味方となりしが乾分三千を擁す法華を相手となせし爭鬪こそ爭鬪中の大爭鬪である

マキノの杉狂兒探偵苦心劇
嘲珍漢
荒木忍、川上君榮、相[illegible]松子……助演
近世探偵十種の內 剃刀（かみそり） 九卷
新三が歸つて來た晩―平之丞に柳は爭つた―新三は手に剃刀を握つていた―自明しの來訪―新三の戰き―犯人何人？

マキノ正博の鐵拳亂爭痛快無比の活劇
鑛山冒險大猛鬪劇 隼 後篇七卷
久利加羅峠には早くも飯島を初め部下數十名は待ち構へた！三郎の退命危し山の老人の出現―？

山村哀話
森かね子、里見明…主演
村の巡査 七卷
殺人の罪により己の職務の爲め子に逢い度て待つた常や戀人に別る悲しみを押しのけて曳かる正太郎曳の古河巡査の苦しき胸

帝キネ マキノ 有聲座 電話四四六番

電話當號變更通知
四二八番
鑛山水力用電機機械器具材料一式ラヂオ組立修繕部分品販賣
日東商會

良品廉賣に勝る商略なし
磐城平町五丁目
磐城セメント株式會社特約代理店
和洋銅鐵金物問屋 (久)釜屋商店
諸橋久太郎
電話 九番 一三九番
振替貯口金座東京一〇九五六番
確實敏捷は(久)の生命なり

片濱自動車運轉
平、高久、豐間、江名
停留所
一丁目小川屋、四丁目泉屋
新川町松崎硝子店、月見町白土屋
月見町一二三屋、江名山口屋
電話…一二七番 一四二番 （御三人以上はお迎ひに參上致します）
平町四丁目和泉屋旅館前
鈴木 片濱自動車商會